

第29回 参考資料

(その1 メディア芸術／日本文化ブーム／クール・ジャパン／日本ブランド等)

ドナルド・キーン『日本の魅力 対談集』中央公論社、1979年3月
浜野保樹「日本アニメーション興国論」(『中央公論』第114巻第4号、中央公論新社、1999年4月)

シルヴァーマン／天野知香・松岡新一郎訳『アール・ヌーヴォー』青土社、1999年12月

日下公人『二十一世紀、世界は日本化する』PHP研究所、2000年3月
『中央公論』(研究：滑落する日本製アニメ・マンガ)(第115巻第10号)
(中央公論新社、2000年9月)

文化庁編『文化庁月報』(特集・メディア芸術の現状と可能性)(通巻370号)
ぎょうせい、1999年7月

文化庁編『文化庁月報』(特集・映画芸術・メディア芸術の振興)(通巻392号)
ぎょうせい、2001年5月

平田オリザ『芸術立国論』集英社、2001年10月

文化庁編『文化庁月報』(特集・国際文化交流：人と組織のネットワーク)(通巻397号)
ぎょうせい、2001年10月

文化庁編『文化庁月報』(特集・文化芸術振興基本法)(通巻401号)行政、
2002年2月

奈良橋陽子「談話室(83) 媚びないクール・ジャパンをめざせ」(『外交フォーラム』通巻第202号、都市出版、2002年5月)

三井秀樹『メディアと芸術』集英社、2002年7月

文部科学省編『文部科学時報』(特集・文化芸術の振興について)(通巻1520号)
ぎょうせい、2003年1月

国際交流研究会『新たな時代の外交と国際交流の新たな役割—世界世論形成への日本の本格的参画を目指して—』国際交流基金、2003年4月

ダグラス・マッグレイ／神山京子訳「〈ナショナル・クールという新たな国力〉世界を闊歩する日本のカッコよさ」(『中央公論』第118巻第5号、中

中央公論新社、2003年5月)

ジェフ・バークランド『日本から文化力』現代書館、2003年10月

小風秀雄代表『近代日本と国際社会』放送大学教育振興会、2004年3月

ルイス・ダナ「ON JAPAN オタクのパワーで日本ブーム再び」(『ニュースウィーク』第19巻第16号、阪急コミュニケーションズ、2004年4月)

山口裕美『Cool Japan: the exploding Japanese contemporary arts』ビーエヌ・エヌ新社、2004年5月

『外交フォーラム』(特集:クール・ジャパン—国力の根源に迫る)通巻第191号、都市出版、2004年6月

緑ゆうこ『イギリス発日本人が知らないニッポン』岩波書店、2004年8月

青木保『『クール・ジャパン』国家日本の創造を!』(『中央公論』第119巻第10号、中央公論新社、2004年10月)

『日経ビジネス』(特集:日本ブランドの逆襲)第1261号、日経BP社、2004年10月

「日本イノベーター大賞 ジャパンクール賞を新設 日本発のソフトパワーに脚光」(『日経ビジネス』第1265号、日経BP社、2004年11月)

奥野卓司『日本発イット革命—アジアに広がるジャパン・クール』岩波書店、2004年12月

日下公人・呉善花『日本の文化力が世界を幸せにする』PHP研究所、2004年12月

横山泰行『ドラえもん学』PHP研究所、2005年5月

大武健一郎『『クール・ジャパン』を売れ—国家戦略なくして税制なし—日本ブランドを世界に広める国税庁長官の頼もしさ』(『Voice』通号330、PHP研究所、2005年6月)

社会経済生産性本部編『インバウンド日本の魅力再生』社会経済生産性本部、2005年7月

大塚英志・大澤信亮『「ジャパニメーション」はなぜ敗れるか』角川書店、2005年11月

浜野保樹「生活様式 世界に模倣される日本の『衣食住』の原点は『身土不二』にあり」(『Sapio』第17巻第21号、小学館、2005年11月)

「ニュース 創立 20 周年の記念碑にシンポジウムを開催 世界に発信する
日本文化『クールジャパン』」(『鶏卵肉情報』第 35 巻第 23 号、鶏卵肉情
報センター、2005 年 12 月)

四方田犬彦『「かわいい」論』筑摩書房、2006 年 1 月

杉山知之『クール・ジャパン 世界が買いたがる日本』祥伝社、2006 年 2
月

中村伊知哉・小野打恵『日本のポップ・パワー』日本経済新聞社、2006 年 5
月

寫信彦『寫信彦の一筆入魂 21 世紀はクール・ジャパンの時代』財界研究所、
2006 年 6 月

杉浦勉「ジャパン・クールと商社」(『日本貿易会月報』第 639 号、社団法人
日本貿易会、2006 年 7 月)

小倉紀蔵「三島由紀夫と JAPAN COOL」(『文学界』第 60 巻第 7 号、2006
年 7 月)

『国際人流』(特集：外国人観光客が注目！新しい日本の魅力)(第 19 巻第 8
号)入管協会、2006 年 8 月

渡辺正人「現代日本文化における趣味的世界の台頭について」(『聖学院大学
論叢』第 18 巻第 3 号、2006 年 8 月)

堀淵清治『萌えるアメリカ～米国人はいかにして MANGA を読むようにな
ったか』P B 社、2006 年 8 月

牟田武生『ジャパנקール』三松株式会社出版事業部、2006 年 8 月

文部科学省編『文部科学時報』(特集：今後の国際文化交流のあり方—日本文
化発信の重要性の課題)第 1567 号、ぎょうせい、2006 年 9 月

大武健一郎「財政問題『クール・ジャパン』立国」(『Voice』通号 346、PHP
研究所、2006 年 10 月)

佐々木健二郎『日本文化ニューヨークを往く』東京キララ社(発売：三一書
房)、2006 年 12 月

綜合社編『国際比較「日本力」』(イミダス情報・知識 2007 年別冊付録)集
英社、2007 年 1 月

『BRUTUS』(特集・WHY?WHAT?クール・ジャパン!?)第 593 号、マ

ガジンハウス、2007年1月

林忠正シンポジウム実行委員会編『林忠正 ジャポニストと文化交流』ブリュッケ、2007年2月

ミュテフィ・リヒター／小林敏明訳『『実体』としての日本か『クール』な日本かーグローバル化時代における日本研究のチャンスとリスク』(神奈川県大学人文科学研究所編『世界から見た日本文化』御茶の水書房、2007年3月)

『ダカーポ』(特集:クール・ジャパン! アニメビジネス最前線) 第603号、マガジンハウス、2007年3月

『日本のアニメを活用した国際観光交流等の拡大による地域活性化調査報告書』国土交通省総合政策局、2007年3月

東浩紀『コンテンツの思想』青土社、2007年3月

神奈川大学人文科学研究所編『世界から見た日本文化』御茶の水書房、2007年3月)

増田貴司「日本力 期待の星はクール・ジャパン」(『エコノミスト』第85巻第18号、毎日新聞社、2007年4月)

ローランド・ケルツ／永田匡訳『ジャパナメリカ 日本発のポップカルチャー革命』ランダムハウス講談社、2007年5月

奥野卓司『ジャパנקールと江戸文化』岩波書店、2007年6月

『Courrier Japon』(特集:世界が見たNIPPON 世界が崇拝する!?“クール・ジャパン”) (第3巻第7号)、講談社、2007年6月

杉山知之『『クール・ジャパン』を誇りにしたい』(『Career Guidance』第39巻第3号、リクルート、2007年6月)

文部科学省編『文部科学時報』(特集:「文化芸術立国」を目指してー「文化力」は国の力) (第1578号)、ぎょうせい、2007年7月

コンテンツグローバル戦略研究会『コンテンツグローバル戦略報告書 最終とりまとめ』(コンテンツグローバル戦略研究会事務局:経済産業省商務情報政策局、2007年9月)

杉山知之『『クール・ジャパン』それは、驚くほど自由の世界』(『Advertising』特集:日本ブランドのつくり、第16号、電通、2007年9月)

- 『をちこち』（特集 Manga are cool!マンガから MANGA へ）第 19 号、国際交流基金、2007 年 10 月
- 『外国人が感激したニッポンの魅力 NHK COOL JAPAN』（アスコム、2007 年 10 月）
- 文化科学研究所編『パフォーミング・アーツにみる日本人の文化力』水曜社、2007 年 10 月
- 大塚英志・大澤信亮『「ジャパニメーション」はなぜ敗れるか』新潮社、2007 年 11 月
- 中島義道「哲学者というならず者がいる（vol.38）クール・ジャパン」（『新潮 45』第 26 巻第 11 号、新潮社、2007 年 11 月）
- 岩渕功一『「クール・ジャパン」の虚実』（『文化の対話力』日本経済新聞社、2007 年 12 月）
- 安東善博・枘田知身・杉殿育恵・杉田定大「新春座談会 アニメ・まんがで世界に情報発信！」（めていちゅうごく、2008 年 1 月）
- 『外交フォーラム』（特集：2008 年 日本の外交課題）（第 21 巻第 1 号）年出版、2008 年 1 月
- 沼田知加『「クール・ジャパン」の正体（上）「麗しき誤解に基づく再認識の衝撃」（『共立女子大学文芸学部紀要』第 54 号、共立女子大学文芸学部、2008 年 1 月）
- 文化庁編『文化庁月報』（特集・メディア芸術の振興）（通巻 472 号）ぎょうせい、2008 年 1 月
- 森本純一郎「国策としてのアニメーション」（『芸術世界』東京工芸大学芸術学部紀要第 14 号、東京工芸大学芸術学部、2008 年 3 月）
- 井上陽介・田村知視「サンディエゴ・コミック・コンベンション報告 ジャパン・クールは本当か」（『宝塚造形大学紀要』第 21 号、宝塚造形大学、2008 年 3 月）
- ケント・カルダ「新しい外交の形—なぜ今、世界に文化外交が必要なのか」（『国連ジャーナル』2008 年 3 月）
- 池内信子編『COOL JAPAN オタクニッポンガイド』JTB パブリッシング、2008 年 3 月

- 入沢将二「クール・ジャパン」の旗手 アニメ頑張れ！」(『経済界』第 43 卷第 6 号、経済界、2008 年 3 月)
- ジェフ・バーランド『日本から文化力』現代書館、2008 年 3 月
- 三井森雁『世界がみる日本の魅力と通知表』幻冬舎ルネッサンス、2008 年 3 月
- 明治大学国際日本語学部編『「ニッポン学」の現在—GENJI からクール・ジャパンへ』角川学芸出版、2008 年 5 月
- 『月刊日本語』特集：きっかけは MANGA 日本が語るソフトパワー(第 21 卷第 5 号、アルク、2008 年 5 月)
- 大藁友和『世界「文化力戦争」大図鑑』小学館、2008 年 5 月
- ラファエル・マルカダル『『ジャパン・クール』に世界はなぜ熱狂するのか』(『をちこち』第 23 号、国際交流基金、2008 年 6 月)
- 『Forbes (日本版)』(特集：外国人観光客を日本に呼び込め)(第 17 卷第 6 号、ぎょうせい、2008 年 6 月)
- 『文化庁月報』(特集：「文化力」は国の力)(第 476 号) ぎょうせい、2008 年 5 月
- 小田切博『『クールジャパン』と『MANGA』』(『ユリイカ』第 40 卷第 7 号、青土社、2008 年 6 月)
- 伊藤真実子『明治日本と万国博覧会』吉川弘文館、2008 年 6 月
- 岩渕功一「メディア文化と越境対話 国際文化交流から次なる段階へ」(『ACCU ニュース』第 369 号、財団法人ユネスコ・アジア文化センター、2008 年 9 月)
- リサ・ステッグマイヤー、鴻上尚史「外国人が感激するニッポンの魅力、再発見！『クール・ジャパン』の進化論」(『The21』第 25 卷第 10 号、PHP 研究所、2008 年 10 月)
- 野島芳明『日本文化の底力—美しい国の世界維新』光明思想社、2008 年 10 月
- 奥野卓司『ジャパニクールと情報革命』(アスキー・メディアワークス、2008 年 10 月)
- レナト・リベラ「歴史から見た日本と西洋のカルチャー・トレード—ジャポ

ニスムからジャパン・クールへ」(『京都社会学年報』第16号、京都大学
文学部社会学研究室、2008年12月)

『COOL JAPAN 発掘! かわいいニッポン』(ランダムハウス講談社、
2008年12月)

霜月たかな『コミックマーケット創世記』朝日新聞出版、2008年12月
沼田知加『クール・ジャパン』の正体(中)―「カワイイ」の罫―(『共立
女子大学文芸学部紀要』第55集、2009年1月)

知的財産戦略本部コンテンツ・日本ブランド専門調査会『日本ブランド戦略
～ソフトパワー産業を成長の原動力に～』知的財産戦略本部コンテンツ・
日本ブランド専門調査会、2009年3月

文化発信戦略に関する懇談会報告『日本文化への理解と関心を高めるための
文化発信の取組について』文化発信戦略に関する懇談会、2009年3月

斎藤美奈子「アニメの国」(天野正子編『表現とメディア』新編日本のフェ
ミニズム7、岩波書店、2009年3月)

福田優二「現代日本の消費文化に関する一考察」(『跡見学園女子大学マネジ
メント学部紀要』第7号、2009年3月)

小山登美夫「クールジャパンから抜け出せ!」(『週刊東洋経済』第6198号、
東洋経済新報社、2009年4月)

瀬川祐子「日本をぶち壊せ!―30 BIG IDEAS (市場を創る)」(『週刊東洋経
済』第6198号、東洋経済新報社、2009年4月)

呉善花『日本の曖昧力―融合する文化が世界を動かす』PHP研究所、2009
年5月

東京商工会議所『東京都の観光政策に関する要望～訪日外国人市場の拡大に
向けた東京ならではの都市型観光資源の開発～』2009年6月

大鹿靖明「商機 Web 発クールジャパンの仕掛け人たち」(『Aera』第22巻第
26号、朝日新聞社、2009年6月)

眞信彦『日本の「世界商品」力』集英社、2009年6月

古賀令子『「かわいい」の帝国―モードとメディアと女の子たち』青土社、2009
年6月

『外交フォーラム』(特集: 日本を売り込め! 魅力ある日本の発信をめざし

て) 通巻第 252 号、都市出版、2009 年 7 月

岸周吾『外国人から見たニッポン』ディスカヴァー・トゥエンティワン、2009 年 7 月

佐々木雅幸・川崎賢一・河島伸子編『グローバル化する文化政策』勁草書房、2009 年 7 月

木下義昭編『「文化力」を研く』世界日報社、2009 年 8 月

佐々木隆「クール・ジャパン」(『新しい国際文化交流論』多生堂、2009 年 9 月)

鳴海文『「萌え」の起源』PHP 研究所、2009 年 9 月

『フォーブス』(特集：日本再生への処方箋 世界の中の「日本力」)(第 18 巻第 11 号) ぎょうせい、2009 年 11 月

マックス桐島『ハリウッドではみんな日本人のマネをしている』講談社、2009 年 11 月

『新成長戦略(基本方針) ～輝きのある日本へ～』閣議決定、2009 年 12 月

小田切博『キャラクターとは何か』筑摩書房、2010 年 1 月

松岡正剛、エバレット・ブラウン『日本力』パルコエンタテイメント事業局、2010 年 1 月

佐々木隆『「クール・ジャパン」とは何か』(『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第 7 輯、2010 年 3 月)

佐々木隆『「クール・ジャパン」としてのマンガ／アニメの現状と展望について』多生堂、2010 年 4 月

(その 2 ソフト・パワー／文化交流／文化外交／パブリック・ディプロマシー等)

毎日新聞社経済部編『日本の国力』法政大学出版局、1959 年 5 月

緒方貞子「外交と世論—連盟脱退をめぐる一考察—」(『国際政治』第 41 号、日本国際政治学会、1970 年 4 月)

中村菊男『日本国益論』自由社、1972 年

会田雄次編『日本 その国益と世界』日本経営出版会、1972 年

フランケル／河合秀和訳『国益』福村出版、1973年
 佐藤公久『GNP 大国日本の「国力」』教育社、1979年9月
 フランケル／田中治男訳『国際関係論』（新版）東京大学出版会、1980年10月
 竹内 宏監修『日本の国力・国際比較大事典』講談社、1984年8月
 講談社編『日本の国力 「財力世界一」の意外な“中身”』講談社、1985年8月
 『総合国力の活用に関する基礎研究報告所』（昭和61年度経済企画庁委託調査）日本総合研究所、1987年7月
 経済企画庁総合計画局編『日本の総合国力 高まる日本の国力と求められる国際的役割』大蔵省印刷局、1987年6月
 小塩節「文化外交の先駆者たち」（『日本及日本人』通巻第1592号）日本及日本人、1988年10月
 シュレンジンジャーJr.／飯野正子訳『外交問題と国益』パーソナルメディア、1988年8月
 『総合国力の観点からみた日本の役割研究会報告 アジア太平洋地域における日本の役割』経済企画庁総合計画局、1989年3月
 ジョセフ・S・ナイ、Jr.／久保伸太郎訳『不滅の大国アメリカへ』読売新聞社、1990年10月
 高柳先男『パワー・ポリティクス』有信堂高文社、1991年7月
 日本経済新聞社編『日本の選択 国益から地球益へのプログラム』日本経済新聞社、1991年10月
 孫崎享『日本外交現場からの証言』中央公論社、1993年6月
 渡部昇一『渡部昇一の「国益原論」入門』徳間書店、1996年1月
 武田龍夫『国益の検証 日本の外交の150年』サイマル出版会、1996年6月
 竹村健一『国力の源泉は「港」にあり』太陽企画出版、1996年7月
 田原総一郎『日本の針路 真の「国益」を求めて』徳間書店、1996年8月
 渡部昇一『国益の立場から』徳間書店、1996年10月
 加藤淳平『文化の戦略』中央公論社、1996年12月

研究情報基金国家戦略研究会編『日本の国益は何か 日本が採るべき世界戦略は』研究情報基金、1997年1月

西山教行「文化外交の黎明期に関する考察」(『L'Aarche』第8号、明治大学大学院仏文学研究会、1997年11月)

青木暢「アメリカの Public Diplomacy について」(『札幌学院大学人文学会紀要』第62号、1998年3月)

国民経済研究協会編『基本国力動態総覧』日本経済新聞社、1998年4月

『「市場の提供」による国益の実現 民間の知恵を活かした総合経済外交戦略』経済同友会、1998年4月

花井等『新外交政策論』東洋経済新聞社、1998年5月

青木保「いまこそ多国間文化外交を」(『中央公論』第113巻第9号、中央公論社、1998年8月)

藤田貞一郎『国益思想の系譜と展開 徳川期から明治期への歩み』清文堂出版、1998年3月)

田尻彰編／電通総研『ソフトパワー・ニッポン』(日本の源流99) 電通総研、1998年12月

日本国際フォーラム編『日本の ODA 国益と国際貢献』日本国際フォーラム、1999年9月

眞鍋俊二『現代日本外交論』関西大学出版、1999年4月

芝崎厚士『近代日本と国際文化交流—国際文化振興会の創設と展開』有信堂高文社、1999年8月

平野健一郎『国際文化論』東京大学出版会、2000年1月

内閣府／財団法人日本総合研究所『国際経済協力の効率化のための官民パートナーシップの検討調査』報告書、2000年3月

大学出版センター編『ソフトパワー研究 ソフトパワー関連資料集』(FIF SPECIAL REPORT N0.3)フジタ未来経営研究所、2000年3月

竹中平蔵・袖川芳之／フジタ未来経営研究所編著『ポストIT革命『ソフトパワー』日本復権への道』実業之日本社、2001年6月

文化庁編『文化庁月報』(特集・国際文化交流：人と組織のネットワーク)(通巻397号) ぎょうせい、2001年10月

浜田和幸『日本にとって「国益」とは何か』祥伝社、2002年6月

松村正義『新版 国際交流史—近現代日本の広報文化外交と民間交流』地人館、2002年7月

ジョセフ・S・ナイ、Jr./山岡洋一訳『アメリカへの警告』日本経済新聞社、2002年9月

高島肇久「国民に後押しされる外交を推進」（『世界週報』第83巻第33号、時事通信社、2002年9月）

『外交フォーラム』（特集：「日本ブランド」—国家の魅力を考える）通巻174号、2003年1月

池上惇・端信行編『文化政策学の展開』晃洋書房、2003年3月

国際交流研究会『新たな時代の外交と国際交流の新たな役割—世界世論形成への日本の本格的参画を目指して—』国際交流基金、2003年4月

北山馨「パブリック・ディプロマシー —アメリカの外交戦略—」（『レファレンス』特集：9・11 その後その2、第53巻第4号、国立国会図書館調査及び立法考査局、2003年4月）

碓氷尊「グローバル・ガバナンスとパブリック・ディプロマシー」（『日本交渉学会誌』第15巻第2号、2003年5月）

薬師寺克行『世界の外交』岩波書店、2003年8月

ジョセフ・S・ナイ/山岡洋一訳『ソフト・パワー』日本経済新聞社、2004年9月

小倉和夫「いわゆる『文化外交国益論を排す「国際財」の真の価値こそ世界に発信しよう』（『中央公論』第119巻第10号、2004年10月）

小林陽太郎・小峰隆夫編『人口減少と総合国力 人的資源立国をめざして』日本経済評論社、2004年10月

平野健一郎監修/戦後日本国際文化交流研究会『戦後日本の国際文化交流』勁草書房、2005年1月

神余隆博『国際危機と日本外交—国益・外交を超えて』信山出版、2005年2月

村田晃嗣『アメリカ外交』講談社、2005年2月

経済同友会『日本の「ソフトパワー」で「共進化（相互進化）」の実現を』

経済同友会、2005 年 2 月

大濱裕「わが国の国力評価とソフトパワーについて(上)」(『国際金融』第 1139 号、財団法人外国為替貿易研究会、2005 年 2 月)

大濱裕「わが国の国力評価とソフトパワーについて(下)」(『国際金融』第 1140 号、財団法人外国為替貿易研究会、2005 年 2 月)

添谷芳秀『日本の「ミドルパワー」外交』筑摩書房、2005 年 5 月

伊藤洋『日本力』講談社、2005 年 6 月

文化外交の推進に関する懇談会『「文化交流の平和国家」 日本の創造』2005 年 7 月

竹下裕子・石川卓編『多文化と自文化—国際コミュニケーションの時代』森話社、2005 年 9 月

『中央公論』(特集：今こそ本気で文化外交を、第 120 巻第 10 号、中央公論社新社、2005 年 10 月)

田原総一郎・岡本行夫『「外交」と何か、「国益」とは何か—増補版・生きのびよ、日本！！』朝日新聞社、2005 年 10 月

近藤誠一「日本の文化外交戦略—文化外交の最前線で考えたこと」(『外交フォーラム』通巻 209 号、都市出版、2005 年 12 月)

高島肇久「官民でパブリック・ディプロマシーを」(『月刊グローバル経営』第 290 号、社団法人日本在外企業協会、2006 年 1 月)

小浜正幸・京藤松子『ブッシュとソフトパワー』自由国民社、2006 年 5 月
中村伊知哉・小野打恵『日本のポップパワー』日本経済新聞社、2006 年 5 月

ピーター・チェピン「ソフトパワーとパブリック・ディプロマシー」(『遠近』第 11 号、国際交流基金、2006 年 6 月)

川崎賢一『トランスフォーマティブ・カルチャー—新しいグローバルな文化システムの可能性』勁草書房、2006 年 7 月

20 世紀メディア研究会編『インテリジェンス』(特集：映画史と政治・社会)(第 007 号) 20 世紀メディア研究会(発売：紀伊國屋書店)、2006 年 7 月
文部科学省編『文部科学時報』(特集：今後の国際文化交流のあり方—日本文化発信の重要性の課題) 第 1567 号、ぎょうせい、2006 年 9 月

- 青木保「国際文化交流の新段階 文化の多様性の擁護と日本文化の発信」(文部科学省編『文部科学時報』(特集：今後の国際文化交流のあり方—日本文化発信の重要性の課題、第 1567 号、ぎょうせい、2006 年 9 月)
- 内田真理子「現代日本の国際文化交流に関する考察」(『文化経済学』第 5 巻第 2 号、2006 年 9 月)
- 島川崇編『ソフト・パワー時代の外国人観光客誘致』同友館、2006 年 9 月『外交フォーラム』(特集：「日本ブランド」ってなに?) (通巻第 223 号) 都市出版、2007 年 2 月
- 三上貴教「パブリック・ディプロマシー研究の射程」(『修道法学』第 29 巻第 2 号、広島修道大学法学会、2007 年 2 月)
- 中西寛大「外交とは何か—異なる社会の共存の作法」(『外交フォーラム』通巻 226 号、都市出版、2007 年 5 月)
- 浜野保樹「コンテンツからみた日本文化と地域ブランディング」(『日経研月報』第 348 号、財団法人日本経済研究所、2007 年 5 月)
- 渡部恒雄(研究代表者)『日本のパブリック・ディプロマシー研究—国益情報を効果的に発信するために—』(東京財団研究報告書 2007-2)東京財団研究部、2007 年 5 月
- 芝崎厚士「国際文化現象としての国際関係研究—ソフト・パワー概念を中心に—」(『インターカルチャル』第 5 号、アカデミア出版、2007 年 6 月)
- 大江博『外交と国益』日本放送出版協会、2007 年 7 月
- 文部科学省編『文部科学時報』(特集：「文化芸術立国」を目指して—「文化力」は国の力) (第 1578 号) ぎょうせい、2007 年 7 月
- コンテンツグローバル戦略研究会『コンテンツグローバル戦略報告書 最終とりまとめ』(コンテンツグローバル戦略研究会事務局：経済産業省商務情報政策局、2007 年 9 月)
- 独立行政法人国際交流基金監修『パフォーミングアーツにみる日本人の文化力』水曜社、2007 年 10 月
- 金子将史他編『パブリック・ディプロマシー』PHP 研究所、2007 年 10 月
- 小原雅博『国益と外交』日本経済新聞社、2007 年 10 月
- 岩渕功一『文化の対話力』日本経済新聞出版社、2007 年 12 月

- 綿貫健治『ソフト・パワー・コミュニケーション』学文社、2007年12月
- 伊藤洋一『日本カーアジアを引っ張る経済・欧米が憧れる文化!』講談社、2008年1月
- 井上泰浩「パブリック・ディプロマシー 対外国意識、国際世論と外交政策」
(伊藤陽一・河野武司編『ニュース報道と市民の対外国意識』慶應義塾大学出版会、2008年1月)
- 『外交フォーラム』(特集:2008年 日本の外交課題)(第21巻第1号)年出版、2008年1月
- ケント・カルダ「新しい外交の形—なぜ今、世界に文化外交が必要なのか」
(『国連ジャーナル』2008年3月)
- 川田健「日本の文化外交についての研究動向と課題—アニメ政策を中心として—」(『東洋大学中国哲学文学部紀要』第16号、東洋大学文学部、2008年3月)
- ケント・カルダー「損なわれた対話を乗り越えて新しい外交の形—なぜ今、世界に文化外交が必要なのか」(『国連ジャーナル』2008年春号、財団法人日本国際連合協会、2008年3月)
- 『日本語』(特集:きっかけはMANGA 日本が語るソフトパワー)(第2巻第5号、アルク、2008年5月)
- 浜田和幸編『「国力」会議 保守の底力が日本を一流にする』祥伝社、2008年5月
- 中野剛志『国力論 経済ナショナリズムの系譜』以文社、2008年5月
- 渡辺靖『アメリカン・センター アメリカの国際文化戦略』岩波書店、2008年5月
- 星山隆『日本外交とパブリック・ディプロマシー —ソフトパワーの活用と対外発信の強化に向けて—』世界平和研究所、2008年6月
- 大石裕・山本信人編『イメージの中の日本—ソフト・パワー再考』慶應義塾大学出版会、2008年8月
- 近藤誠一『文化外交の最前線にて』かまくら春秋社、2008年10月
- レナド・ノベラ「歴史から見た日本と西洋のカルチャル・トレード—ジャポニスムからジャパン・クールへ—」(『京都社会学年報』第16号、京大

学文学部社会学研究室、2008 年 12 月)

霜月たかな『コミックマーケット創世記』朝日新聞出版、2008 年 12 月
佐藤卓巳『ソフト・パワー構築に向けたメディア文化政策の国際比較研究』

基盤研究 (B) 研究課題番号: 21330039、2009 年度

田中均『外交の力』日本経済新聞社、2009 年 1 月

根本長兵衛・林はる芽監訳『超大国アメリカの文化力』岩波書店、2009 年 1 月

『経済 Trend』(特集: 国家戦略としての観光を考える) 日本経済団体連合会、

2009 年 1 月

ジョセフ・S・ナイ、Jr./ダイアン・L・クーツ/編集部訳「ソフト・パワーを使い分けるスマート・パワー」(『Harvard Business Review』第 34 巻第 2 号、2009 年 2 月)

知的財産戦略本部コンテンツ・日本ブランド専門調査会『日本ブランド戦略～ソフトパワー産業を成長の原動力に～』知的財産戦略本部コンテンツ・日本ブランド専門調査会、2009 年 3 月

* 『知財ふりすむ』(第 7 巻第 80 号)(財団法人経済産業調査会知的財産情報センター、2009 年 5 月) にも掲載されている。

福田優二「現代日本の消費文化に関する一考察」(『跡見学園女子大学マネジメント学部紀要』第 7 号、2009 年 3 月)

谷内正太郎・高橋昌之『外交の戦略と志』産経新聞社(発売: 日本工業新聞社) 2009 年 4 月

櫻井孝昌『アニメ文化外交』筑摩書房、2009 年 5 月

渡辺靖「日本らしさとは何か—アイデンティティと文化外交」(『外交フォーラム』通巻第 252 号、2009 年 7 月)

市川紘子「米国の対外文化政策研文理論の系譜—『プロパガンダ』の否定性の問題と『パブリック・ディプロマシー』理論の構築—」(『東京大学大学院 情報学環紀要 情報学研究』第 77 号、2009 年 8 月)

井出敬二『文化外交』について—歴史的展望、今日的意味と課題」(『文化経済学』第 6 巻第 4 号、文化経済学会、2009 年 9 月)

佐々木隆『新しい国際文化交流論』多生堂、2009年9月

佐々木隆『『文化交流』から『文化外交』へ』（『武蔵野学院大学日本総合研究所研究紀要』第7輯、2010年3月）

（その3 英文文献）

Schodt, Frederik L. *Manga! Manga! The World of Japanese Comics*. Kodansha International, 1986

Nye, Jr. Joseph S. *Bound to Lead*. Basic Books, 1990.

Proitras, Gilles. *Anime Essentials*. Stone Bridge Press, 1991.

Levi, Antonia. *Samurai from Outer Space: Understanding Japanese Animation*. Open Court, 1996

Napier, Susan J. *Anime: from “Akira” to “Princess Mononoke”*. New York: Palgrave Macmillan, 2000.

Jones, Diana Wynne. *Howl's Moving Castle*. Collions, 2000.

Clements, Jonathan Clements & McCarthy, Helen. *The Anime Encyclopedia*. Stone Bridge Press, 2001.

Napier, Susan J. *Anime: from “Akira” to “Princess Mononoke”*. New York: Palgrave Macmillan, 2001.

McCarthy, Helen. *Hayao Miyazaki: Master of Japanese Animation*. Stone Bridge Press, 2002.

Building America's public diplomacy through a reformed structure and Additional resources. A 2002 Report of the U.S. Advisory Commission on Public Diplomacy. 2002

McGray, Douglas. “Japan's Gross National Cool”(Foreign Policy.2002 May/June)

Drazen, Patrick. *Anime Explosion!* Stone Bridge Press, 2003.

Morton, Leith. *Modern Japanese Culture*. Oxford University Press, 2003.

Gravett, Paul. *Manga: Sixty Years of Japanese Comics*. Laurence King Publishing, 2004.

- Cary, Peter. *Wrong About Japan*. Alfred A.Knopf, 2004.
- Patten, Fred. *Watching Anime, Reading Manga*. Stone Bridge Press, 2004.
- Nye, Jr. Joseph S. *Soft Power: The Means To Success in World Politics*. Public Affairs, 2004.
- Brian, Bremner and Belson, Ken. *Hello Kitty*. Singapore: 2004.
- Usui, Mikoto. “Institutional Bargaining towards Sustainable Development: Public Diplomacy in a World of Networked Minimalism” (*Japan Negotiation Journal*. Vol.14 No.1. 日本交渉学会、2004 年 3 月)
- Melissen, Jan, editor. *The New Public Diplomacy*. New York: Palgrave Macmillan, 2005.
- MacGray, Douglas, Saito, Dai and Azuma, Hiroki. “Otaku Unmasked: The Life, Death and Rebirth of Japan’s Pop Culture”(New York: Japan Society, November 29, 2005)
- Napier, Susan J. *Anime: from “Akira” to “Howl’s Moving Castle”*. New York: Palgrave Macmillan, 2005.
- Proitras, Gilles. *The Anime Companion*. Stone Bridge Press, 2005.
- Proitras, Gilles. *The Anime Companion 2*. Stone Bridge Press, 2005.
- Watanabe, Morio. “An origin of ‘Cool Japan’ in Masaoka Kenzo’s *Kumo to Chulippu*—A masterpiece of Japanese animation film in the era of World War II—”(『九州国際大学教養研究』第 12 巻第 1 号、九州国際大学教養学会、2005 年 7 月)
- Kelts, Roland. *Japanamerica*. New York: Palgrave Macmillan, 2006.
- Phoenix, Woodrow. *Plastic Culture*. Tokyo: Kodansha, 2006.
- Allison, Anne. *Millennial Monsters: Japanese Toys and the Global Imagination*. Berkeley: University Press, 2006.
- Brown, Steven T., ed. *Cinema Anime*. New York: Palgrave Macmillan, 2006.
- Allen, Matthew and Rumi Sakamoto, eds. *Popular Culture*,

Globalization

and Japan. New York: Routledge, 2006.

Hornyak, Timothy N. *Loving the Machine: The Art and Science of Japanese Robots*. Tokyo: Kodansha International, 2006.

Oliver, Chris. "It's cool: English in Japanese popular culture"

(『立教大学ランゲージセンター紀要』第16号、立教大学ランゲージセンター、2006年7月)

Koyama-Richard, Brigitte. *One Thousand Years of Manga*. Flammarion, 2007.

Waller, J. Michael, editor. *The Public Diplomacy Reader*:

Washington: The Institution of World Politics Press, 2007.

McGee, Jennifer. "Romantic, Strange, Cool: Three Images of Japan in Western Popular Culture" (『言語文化』第15号、愛知淑徳大学言語コミュニケーション学部、2007年3月)

Britton, Joseph. "Japan-Otaku Nation Trends of Japanese Otaku Youth" (『大阪府立大学総合教育研究機構第二教室 (外国語教室) 論文集 言語と文化』第6号、大阪府立大学、2007年3月)

MacWilliams, Mark W. ed. *Japanese Visual Culture*. New York: An EastGate Book, 2008.

Watanabe, Yasushi and McConnell, David L., editors. *Soft Power Super-Powers*. New York: M.E.Sharpe, 2008.

Cowan, Geoffrey and Cull, Nicholas J., editors. *Public Diplomacy in a Changing World*. (The Annals of the American Academy of Political and Social Science) Philadelphia: Sage, March 2008.

Ruland, Patty J. *From Painted Scrolls to Anime: Literature and the Arts of Japan*. Farmington Hills, MI, 2008.

West, Mark I., ed. *The Japanification of Children's Popular Culture*. Lanham, Maryland; Toronto, Plymouth, UK, 2009.

Galbraith, Patrick W. *The Otaku Encyclopedia*. Tokyo: Kodansha International, 2009.

- Snow, Nancy and Taylor, Philip M., eds. *Routledge Handbook of Public Diplomacy*. New York: Routledge, 2009.
- Ingulsrud, John E. and Allen, Kate. *Reading Japan Cool: Patterns of Manga Literacy and Discourse*. Plymouth: Lexington Book, 2009.
- Sugimoto, Yoshino, editor. *The Cambridge Companion to Modern Japanese Culture*. Cambridge University Press, 2009.
- Ladd, Fred. *Astro Boy and Anime Come to the Americas*. Jefferson: McFarland & Company, Inc., Publishers, 2009.

(その5 インターネット)

- 「国立国会図書館」(<http://www.ndl.go.jp>)
- 「東京都立中央図書館・日比谷図書館・多摩図書館」
(<http://www.library.metro.tokyo.jp/3> 館共通)
- 「文部科学省」(<http://www.mext.go.jp>)
- 「外務省」(<http://www.mofa.go.jp>)
- 「経済産業省」(<http://www.meti.go.jp/>)
- 「JETRO (日本貿易振興機構)」(<http://www.jetro.go.jp/indexj.html>)
- 「文化庁」(<http://www.bunka.go.jp/>)
- 「BRITISH COUNCIL」(<http://www.britishcouncil.org/new>)
- 「UK NOW」(<http://www.uknow.or.jp/>)
- 「観光庁」(<http://www.milt.go.jp/kankocho/>)
- 「国際交流基金」(<http://www.jpf.go.jp/j/>)
- 「社団法人日本ユネスコ協会連盟」
(<http://www.unesco.jp/contents/isan/about.html>)
- 「ユネスコ日本政府代表」(<http://www.unesco.emb-japan.go.jp/>)
- 「文化庁メディア芸術プラザ」
(<http://www.bunka.go.jp/museum/beyond/voll>)
- 「今後の国際文化交流の推進について (報告)」
(http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/5/03/030316.htm)

「新しい時代の国際文化交流（国際文化交流に関する懇談会）」
(<http://www.kantei.go.jp/murayamasorui/danwa/kouryu.html>)

「第6回国際文化交流懇談会：議事要旨」
(http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/bunka/...)

「21世紀に向けた新しいメディア芸術の振興について（報告）」
(http://www.bunka.go.jp/geijutsu_bunka/eiga_eizou/plan/media_geijutu_sinkou.html)

「Japan's Gross National Cool by Douglas McGray」
(http://www.japansociety.org/gross_national_cool)

「Douglas McGray “Japan's Gross National Cool”(Foreign Policy.2002 May/June)」(<http://www.chass.utoronto.ca/~ikalmar/illustex/japfpmcgray.htm>)

「COOL JAPAN～発掘！ かつこいニッポン」
(<http://www.nhk.or.jp/cooljapan/>)

「東浩紀 ポップ政策はどこまで真剣になれるか」（独立行政法人経済産業研究所）(<http://rieti.go.jp/it/column/column030903.html>)

「Cool Japan: Otaku Strikes!」
(http://www.coolhunting.com/archives/2005/02/cool_japan=otaku.php)

「Japan 国際コンテンツフェスティバル（コ・フェスタ）」
(<http://www.cofesta.jp/2009/jp/wahts/wahtas.html>)

「財団法人デジタルコンテンツ協会」(<http://www.dcaj.org/>)

「The Benefits of Soft Power by Joseph S. Nye Jr.」
(<http://hbswk.hbs.edu/archive/4290.html>)

「麻生外務大臣演説 文化外交の新発想—みなさんの力を求めています」
(http://www.mofa.go.jp/MOFAJ/press/enzetsu/18/easo_0428.html)

「日本視覚文化研究室」
(http://blog.livedoor.jp/akio_live1/archives/51154194.html)

「PHP政策懇談会『日本のパブリック・ディプロマシー』」
(<http://research.php.co.jp/etc/038/>)

「Morrow in the Public Interest: From Press Affairs to Public Diplomacy
by Crocker Sknow, Jr.」

([http://www.america.gov/st/democracyhr-english/2008/June/
20080601113eaifas0.5135767.html](http://www.america.gov/st/democracyhr-english/2008/June/20080601113eaifas0.5135767.html))

「Public diplomacy」

(http://www.knowledgerush.com/kr/encycolpedia/Public_diplomacy/)

「Public Diplomacy: Enabling National Security Strategy」

(handle.dtic.mil/100.2/ADA471522)

「Public Diplomacy Alumni Association」

(<http://www.publicdiplomacy.org/1.htm>)